

# 2022年度 地域課題解決型活動プロジェクト報告

## 生涯遊び心研究プロジェクト

小松 歩・瀧口 優\*・金田 利子\*\*・山路 千華\*\*\*

### 活動実績の概要

#### はじめに

2009年度幼稚園園舎の一部建て替えに合せてスタートした研究プロジェクトの中から「生涯遊び心プロジェクト」は始まり、以後10年、遊びと遊び心をテーマに研究を重ね、研究調査と保育学会等での発表を重ねてきた。2020年度には「世代を超えた遊び心でコミュニティーの再生を」を出版したことを踏まえて、保育学会での自主シンポジウムを企画したが、コロナ禍のため要旨発表のみで実際に行うことができなかった。そこで、2022年度は、第2回の公開講演会を実施するとともに、

2023年度保育学会での自主シンポジウム開催に向けた準備をすすめた。

#### 1. 研究の経過

計画に沿って研究会を開催した。遊び心に関する新たな文献の講読と並行して、次年度保育学会の自主シンポジウム開催に向けて、これまで実施したアンケートの保育者と保護者の自由記述の内容について分析をすすめた。11月以降は、シンポジスト（麻生武氏、富田昌平氏）との打ち合わせや発表資料の作成、公開研究会に向けた準備を行った。

回	月	日	内 容	備 考	場 所
1	4	24	研究会	保育学会準備	小松研究室
2	5	29	研究会	遊び心に関する文献講読	小松研（Zoom併用）
3	6	26	研究会	遊び心に関する文献講読	小松研（Zoom併用）
4	8	27	研究会	保育学会、公開研究会内容検討	小松研究室
5	9	24	研究会	保育学会、公開研究会内容検討	小松研究室
6	11	3	研究会	保育学会、公開研究会発表準備	小松研究室
7	12	10	研究会	保育学会、公開研究会発表準備	小松研究室
8	1	5	研究会	保育学会、公開研究会準備	小松研究室
9	1	29	研究会	公開研究会準備	小松研（Zoom併用）
10	2	26	研究会	第2回公開研究会（春の講演会）	F23（オンライン併用）

#### 2. 研究の成果と課題

2021年度5月の保育学会で企画した自主シンポジウム「遊びと遊び心の違いと関連性」はコロナ禍の影響で実際には開催できなかったため、第1回公開研究会では、シンポジウム登壇者の一人麻生武氏を招いて「親の遊び心・保育者の遊び心・子どもの遊び心」と題した講演をしていただき、遊び心の捉え方や重要性について討論した。今年

度第2回公開研究会では、もう一人の登壇者富田昌平氏に「子どもと大人の遊び心を通した「誘われる一誘う」関係」と題した講演をしていただいた。当日は本学教員、学生の他、地域の方の参加もあり、改めて遊び心の捉え方を深めることができた。また、小山市の保育者、小平市の保育者と保護者に協力いただいたアンケートの分析は、遊びの本質について回答が異なる者について、遊び心の回答内容および地域の公園についての自由記述内容に差異があるかどうかを中心に検討した。

\*白梅学園短期大学名誉教授

\*\*客員研究員 フェリシアこども短期大学

\*\*\*客員研究員 白鷗大学

この結果は2023年度保育学会の自主シンポジウム「コミュニティ再生における遊び心の持つ意味」として討論する。

今後も、講演会やシンポジウムでの討論内容をもとに遊び心についての研究を継続するとともに、本書の提言を具体化していく方策を検討し実施していく予定である。